

スーパーM・UNIT シリーズ		
取扱説明書	NestBus 用、仮想カード形	形式
	モデムインタフェース	SMDT

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

- ・モデムインタフェース（本体+ソケット）.....1台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

本器の設定に関しては、計器ブロックリスト (NM-6461-B) をご覧下さい。また、モデム機能に関しては、SMDM 取扱説明書 (NM-6375) をご覧下さい。弊社のホームページよりダウンロードが可能です。

ご注意事項

●供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電力
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
交流電源：定格電圧 85 ~ 132 V AC の場合
85 ~ 132 V AC、47 ~ 66 Hz、約 3 VA
定格電圧 170 ~ 264 V AC の場合
170 ~ 264 V AC、47 ~ 66 Hz、約 3 VA
直流電源：定格電圧 24 V DC の場合
24 V DC ± 10 %、約 3 W

●取扱いについて

- ・ソケットから本体部の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源を遮断して下さい。
- ・電源投入時はモデムユニット（形式：MOD □、MOC2 など）と同時か、先にモデムユニットの電源を供給して下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -5 ~ +55℃ を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

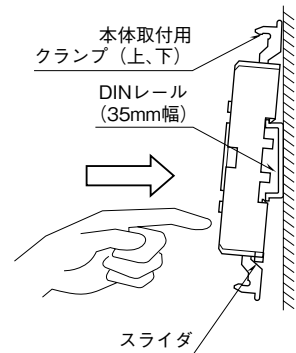
取付方法

ソケットの上下にある黄色いクランプを外すと、本体とソケットを分離できます。

■DIN レール取付の場合

ソケットはスライダのある方を下にして下さい。ソケット裏面の側上フックを DIN レールに掛け下側を押して下さい。

取外す場合はマイナスドライバなどでスライダを下に押し下げその状態で下側から引いて下さい。

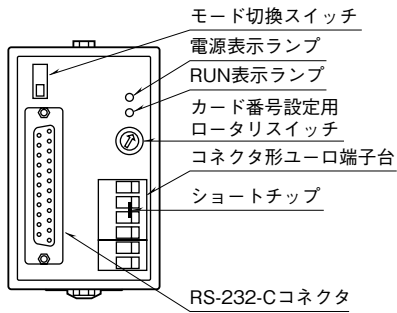


ソケットの形状は機種により多少異なることがあります。

■壁取付の場合

外形寸法図を参考に行ってください。

前面パネル図



■RS-232-Cインタフェース

略号	ピン番号	機能	説明
FG	1		(未接続)
SD	2	送信データ	本器から送られるデータ信号
RD	3	受信データ	本器に送られるデータ信号
RS	4	送信要求	送信要求の信号
CS	5	送信可	本器へのデータ送信許可
DR	6	データセットレディ	送受信可能信号
SG	7	信号用アース	信号用アース
CD	8	キャリア検出	キャリア受信中信号
ER	20	端末装置レディ	本器の送受信可能信号
	12	接続不可	このピンには何も接続しないで下さい。
	13		不具合の原因になります。
	24		
	25		

カード番号設定用スイッチ

本体前面に、0～Fまでカード番号を設定するロータリスイッチがあります。

同一NestBusに接続できる台数は、合計16台までです。カード番号が重複しないように設定して下さい。特に仮想カード形は、設定された番号の後ろに最大5カード分エリアが取られるため、注意して下さい。

RUN 接点出力について

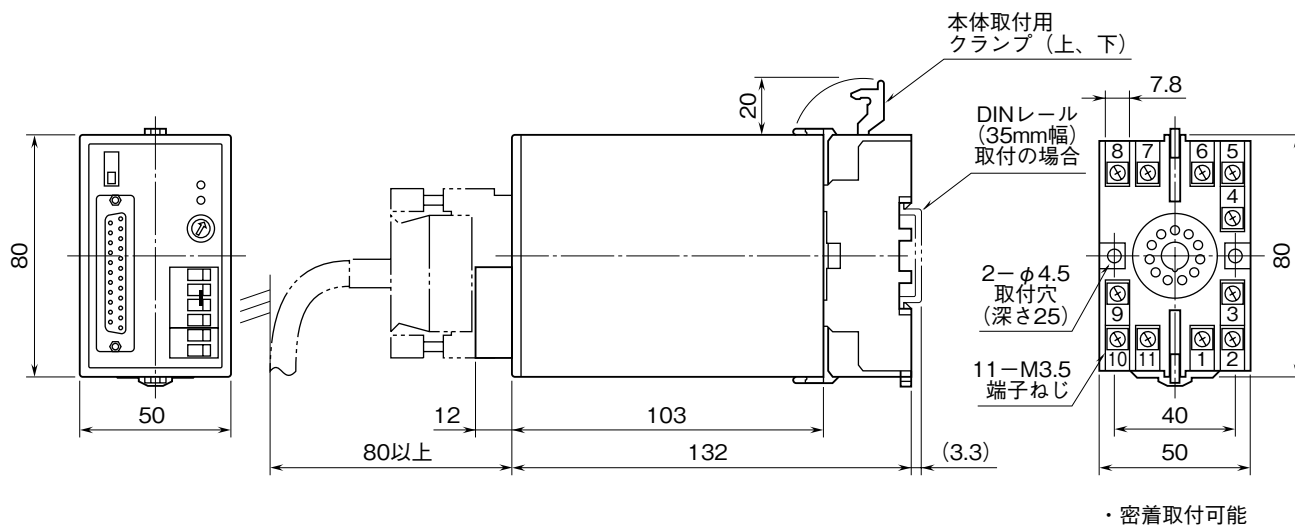
SMDT前面にあるRUN接点出力は正常時ONであり、下記状態のときOFFとなります。

- ① SMDTの電源OFF時
- ② SMDTのCPU故障検知時
- ③ SMDTのNestBus受信端子のタイムオーバー時
- ④ 回線異常時（テレメータまたは無線テレメータで使用する場合）

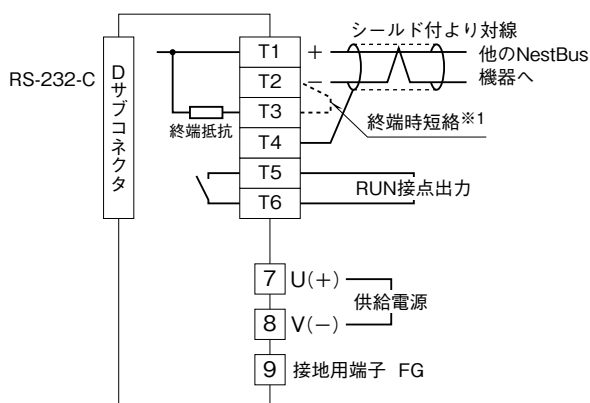
接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行ってください。

外形寸法図 (単位 : mm)



端子接続図



※1、より対線の伝送ラインが終端の場合は(=渡り配線がない場合)、端子T2、T3間を付属のショートチップ(または配線)で短絡して下さい。ユニットが伝送ラインの途中に配線されているときは、端子T2、T3間のショートチップをはずして下さい。
注) 渡り配線はT1、T2、T4端子を使って下さい。

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電気機器専門避雷器<エム・レスタシリーズ>をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。

配 線

■端子ねじ

締付トルク : 0.8 N・m

■コネクタ形ユーロ端子台 (NestBus、RUN 接点出力)

適用電線 : 0.2 ~ 2.5 mm²

剥離長 : 7 mm